
trick blade

桜凜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

trick blade

【コード】

N9078I

【作者名】

桜凜

【あらすじ】

早く人になりた^くい

と思っている、刀^{ブレイド}な少年少女のバトルコメディ！

プロローグ

耳を貫くような金属物のぶつかり合う音が教室内に鳴り響く。

「さあ！早く「人憑魂」を渡せ！」と全身をマントで身を包んだ人間（？）が言った。

「だからさつきから、渡せないって言ってるんだろ！しかもなんなんだよその格好！まじ、だせえ！」と…俺の声にかき消されそうな声が俺の握っている日本刀から。

「一、^は服装の事は関係ない。今は逃げる事が先。」

（ああ…何でこんなことになっちゃまったんだ…？）

朝の風景

カナナピピッ！ピピッ！

柔らかな日差し。

ウザイほど鳴き喚く鳥。

二度寝にしよう二度寝…

さらば、人類…

バタアアン！

(ドアが破壊される音)

「一ちゃん朝だよ〜おつきろ〜！」この朝から血管がぶちきれんじやないか？つてくらいテンション高い女の子は俺の幼なじみの「加^カ賀美^{ガミレイ}恋糸」

巨乳で上から9…

バチインー

(俺の頬を抉る音)

「声に出てるよ〜な、な、なんで？一ちゃんが私のスリーサイズ知ってるのよ〜」可愛い声で鳴く恋糸

調子にのった俺は…

「別にいいだろ〜しかも、お前最近、2kg太ったよな〜まあ胸にお肉がつい…」

バチインー

(本日二回目。)

「一ちゃんなんてもう知らない！言葉さん行こっ！」

「行くことには問題はないが、一の方に問題がある。耳から奇妙な汗が出ている。股間がふくらんでい…。」と可愛い可愛い俺の言葉が喋り終わると同時に。

ガチャリ。ガチャガチャ。

(ドアの閉まる音&鍵が閉まる音だな。)

「私達行くね。一ちゃんはぐゅっくり〜」「いつもとは違う冷徹な声と…」

「ウム、行ってくるぞ、一よ。」と言葉。

「ごめんなさい！おれがわるかった、これただの棒だから！恋糸ここあけて！恋糸〜」

部屋の中で悲惨な声がこだました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9078i/>

trick blade

2010年10月9日20時03分発行